

平成28年度 へき地部事業報告

1 活動方針

ふるさとで心豊かに学び、新しい時代を切り拓く子どもの育成をねらいとした研究を行う。

2 事業内容

月	日	事業名	事業内容
5	6	第1回市へき地部員会	活動方針の確認と事業計画の立案 (文書による確認)
	19	第1回県へき地部長会	役員選出・役割分担・執筆割当等 事業報告と事業計画等の承認 第47号「愛媛のへき地教育」について
7	1	第2回県へき地部長会	平成28年度の研究推進について 全へき連、中四国へき地教研協議会の報告 県へき地教育研究大会(中島小・中)について
9	29	第3回県へき地部長会	県へき地教育研究大会実行委員会
10	20	第2回市へき地部員会 市へき地・複式教育部会	授業研究・情報交換 (双岩小 宮田伸一教諭 教科:算数科)
	27	県へき地教育研究大会 (中島小・中学校)	県大会2名参加(愛教研指名) (真穴小 佐々木、川上小 坂本)
1	20	第4回県へき地部長会	全へき地研青森大会、中四国へき地研山口 大会報告 平成28年度事業や研究推進等の反省 県へき地研大会の成果と反省
2	16	第3回市へき地部員会	複式指導案集の作成と配布 平成28年度反省
<p>○ 「全国へき地教育新聞」購読料(年間)</p> <p>○ 関連図書(平成28年度版実践事例集「未来への創造」)購入</p>			

4 今年度の反省と来年度への志向

- 市教研へき地・複式教育部会との連携による授業研究を通して、少人数・複式学級の特性を生かした学習指導の工夫や少人数指導における児童との関わり等について、部員全員で研修を深めることができた。
- 複式学級の指導案集を作成し、複式学級を有する3校(真穴小・川上小・双岩小)と日土小(昨年度まで複式学級有り)に配布した。
- 昨年度末の「愛教研在り方検討委員会Ⅱ」より、『「へき地部」の名称を「地域教育部」と変え、ふるさと教育、コミュニティースクール、放課後子ども教室等の内容も含めた研究に広げていくことを視野に置き、将来的には所属局の位置付けも含め、検討を進める。』と答申があった。今年度、へき地部長会をはじめ、各関係機関等とも検討・相談をした結果、平成29年度から名称を「へき地・地域教育部」に変更されることになった。隔年開催される「県へき地教育研究大会」についても、平成30年度から「愛媛県へき地・地域教育研究大会」に名称変更の予定。県の研究指定校での授業公開と学習指導上の諸問題についての協議については、これまで通り実施する予定だが、「新たな地域社会づくりの担い手の育成」が目標に加わることになる。本市においても、へき地・小規模・複式学級を有する学校だけでなく、全ての学校で、学校・家庭・地域の連携強化を重視した研究を進める必要があるだろう。